第 58 回長野県視覚・放送・情報教育研究大会　北安大会

授業公開学習指導案

◯公開テーマの設定と目指す子どもの姿

池田町立会染小学校

学校教育目標
自らうごく会染の子ども
よく学ぶ子　よく遊ぶ子　よく働く子

教育課題　「子どもが考える授業」

授業づくりの重点

・重点１　「W型の問い」と価値のあるリフレクション
多角的な視点から解決策を導く
互いの良さを採り入れながら考えを確かにする

・重点２「対話」と共有の日常化
ペアなどで自分の考えを表現する
互いの考えを視覚化，共有する

ICT 活用の重点

・子ども自身が「選び，考え，表現する」ための学習アイテムとして選択できる環境づくり。
・どの学年でも学びを深める手段として子ども自身が主体的に使うことができる授業づくり。
・普段の授業の中で使えるようになっていく授業づくり。

実践の悩み・課題

・教育情報化 SAMR モデルへの転換
・主体的，協働的に使っている子どもの姿を授業や生活の中で大人がどのように見ていくのか

みんなで創る会染文化

・異年齢交流　・肥後守　・子ども運営の学校行事



公開授業テーマ　「選び，考え，表現する」ための問いの設定と ICT 活用の位置づけ
～主体的に学ぶ子どもを支える教師の役割とは？～

事前の授業より見えてきた子どもの姿

・2年生「算数」の授業より

授業内における必要感のある ICTの利用。具体物を使って繰り返し試すことができる授業場面で，写真のアップロードを探究を深める共有場面で使う。





・３年生「音楽」の授業より

自分の聞きたい部分を選択して聞くことができるように，それぞれのタイミングでのイヤホン利用。表現方法に幅をもたせた学習カード（紙）の効果的な活用。

・4～6年生「学活　性に関する指導」の授業より



授業のまとめの場面における表現方法の多様さを保証するスライドや画像，色の効果的な利用。言語化以外の代替手段の提示。

意識したい授業設計（伏木先生指導資料より）

■ 以下のいずれかを意識して取り組んでみる

A. 単元の学習指導に先んじて、学習「材」と出会う子ども一人ひとりのレディネスを（既有知識・経験）把握する。

B. 単元の学習の到達目標（ゴールイメージ）を子どもと共有する。

C. どんな方法を選んで取り組むかを子どもと考え合う。
（教師が勧めた"よい"やり方がその子にとっても"よい"とは限らない。

D. 目標に照らし合わせ、得られたこと（成果）と得られなかったこと（課題）を子どもと共に分析する。→メタ認知を鍛える。

E. 次時に追究する学習課題を子どもたちの学びの中から導き出す。または、「ふり返り」の中から抽出する。

→今回の授業公開でのポイント

・子どもの必要感，選択肢の１つとしての機器の利用
・１教科単元内自由進度学習の試み
・AI 活用による指導案の見える化
・写真を利用し，子どもの育ちの過程を共有する
・FIKA タイムをとりいれた授業研究会のもち方

見てほしい子どもの姿

・日々の授業や教科の学びの中に ICT 機器の利用が当たり前に位置づいている子どもの姿。
・主体的に「選び，考え，表現する」子どもの姿。

◯参観資料について

【全体に関わって】

	令和８年度視放情研県大会 ホームページ 「各会場　および　講演会のご案内」		①駐車場案内　②教室配置図 ③④日程一覧・授業研究会要項 ⑤学校紹介
この資料	⑥-1 公開テーマの設定と目指す子どもの姿 参観資料について		参観した子どもの様子は こちらへ投稿をお願いします。 画面上「＋」で投稿できます。
	⑥-2 １年生活科指導案 授業者：三原　哲		⑥-3 ４年社会科指導案 授業者：川上　加世子
	⑥-4 ５年算数科　手引き 授業者：安藤　光輝		⑥-5（当日公開） ５年算数科　学習カード 授業者：安藤　光輝

【各学年参観資料】

１年生　生活　「あきとなかよし」　場所：１学年教室			
	１学年通信		秋のアルバム 写真アップロード先
４年生　社会　「自然災害からくらしを守る」　場所：４学年教室			
	クイズで学ぼう！ マイ・タイムライン		児童作成 NHK for school で作成した 番組プレイリストのリンク一覧
	池田町ハザードマップ		池田町ハザードマップ航空写真
５年生　算数　「面積」　場所：５学年教室			
	学習カード②-1　動画 三角形の面積		学習カード②-2　動画 三角形の面積
	学習カード④-1　動画 平行四辺形の面積		学習カード④-2　動画 平行四辺形の面積
	学習カード⑧　動画 台形の面積		学習カード⑩　動画 ひし形の面積
当日のみ	ふり返り ※当日資料にて提示		５年算数科　手引き ぼかしなし

※☆マークのQRコードについては，当日のみの公開になっております。また，👤マークのQRコードについては，子どもの様子に関わるものになるため，参観用のChromebookより閲覧をお願いします。折り鶴マークのQRコードについては，当日までの公開にしております。著作権・個人情報の取り扱いにはご留意ください。